

みどり ネットの
水土里

和

midorinet no



みどり
水土里ネット

第190号

(令和元年9月発行)

水土里ネット和歌山
(和歌山県土地改良事業団体連合会)



段々畑の風景 (方地区土地改良区)

contents

1. 中山副会長のご挨拶
2. 土地改良区役職員研修の実施
3. 宮崎雅夫参議院議員のご挨拶
4. 農業農村整備の集い(6月)
5. ため池保全整備連絡協議会等の提案活動
6. 近畿水土里ネット連合協議会の総会
7. 国営農業水利改良事業促進近畿協議会の定期総会開催
8. 近畿水土里ネット連合協議会による提案活動(近畿農政局、本省)
9. 和歌山県土地改良事業団体連合会第1回監事会及び第1回理事会の開催
10. 土地改良法改正に伴う複式簿記化、資産評価の取り組み
11. 有田巨峰村オープニングセレモニー
12. シリーズ土地改良区紹介⑥
◆【方地区土地改良区】

1. 中山副会長のご挨拶



和歌山県土地改良事業団体連合会
副会長 中山 正隆

まだまだ、厳しい残暑が続いていますが、会員の皆様方におかれましては、日頃の施設管理等にご尽力戴いていることと存じます。

さて、7月21日には、皆様方の御陰をもちまして、都道府県水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫氏が、参議院議員選挙で見事当選を果たされ、進藤議員と共に、車の両輪となって、これからの土地改良を牽引してってくれるものと多いに期待が出来ることとなりました。

7月23日には、中村副会長と共に近畿水土里ネット連合協議会（今年度は、水土里ネット和歌山が当番県）の提案活動で、自由民主党二階幹事長、財務省主計局、農林水産省農村振興局に予算確保の要望を行うとともに意見交換を行って参りました。

幹事長室では、進藤金日子議員、宮崎雅夫議員が駆けつけてくれ、二階幹事長から、土地改良の予算確保にしっかり取り組むよう指導を戴いたところです。

本県においても、老朽化した土地改良施設の長寿命化対策や、果樹産地の畑地かんがい、単軌道整備、また、水田の生産性の向上や汎用化を進めるためのほ場整備、農業用ため池の防災減災対策等、まだまだ取り組むべき課題は沢山あります。

国、県とともに、このような課題に積極的に取り組む必要があると考えておりますので、会員の皆様方のより一層のご支援を賜りますよう御願いし、挨拶とさせていただきます。

2. 土地改良区役職員研修の実施

令和元年5月15日、JAビル7F会議室にて、今年度最初の役職員研修を行いました。出席者は、男性23名、女性15名と多くの参加がありました。

講師には、全土連専務の小林祐一さん、進藤参議院議員夫人の進藤優貴子さん、近畿農政局の中野事業調整室長、この4月から和歌山県農林水産部に新たに設置された里地・里山振興室の岡村室長にお話を戴きました。

今回は、昨年創設された女性部会の活動を活発にするため、研修会は男女を別にし、意見交換がスムーズに行えるよう工夫をしたところです。特に、進藤優貴子さんは、全国の女性部会の会合等に参加した経験などを話して戴き、活発な意見交換が出来たところです。



3.宮崎雅夫参議院議員のご挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 **宮崎 雅夫**

「土地改良は未来への礎」を活動の基本理念に 頑張ります

実りの秋を迎え、和歌山県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係機関の皆様には、ますますご清祥のことと存じ上げます。

皆様には、日頃から土地改良の推進、農業農村の振興にご尽力頂いておりますことに心より敬意を表します。

また、このたびの令和最初の参議院議員選挙におきましては、お陰様をもちまして当選の栄に浴することができ、皆様のご期待に応えられるよう先輩の進藤金日子議員と力を合わせて頑張っております。

私は、土地改良とは、先人が創り上げた農地やかんがい排水施設を時代の要請に応じて整備し、農業農村の発展を図りながら次の世代に引き継いでいく仕組みだと考えています。

そこには、国民に食料を安定供給するとともに、かけがえのない美しい日本のふるさとを守り、後世にしっかりと引き継いでいくという国民的課題に応えていくことが求められています。こうしたことを一言で表したのが私のモットーとするところの「土地改良は未来への礎」です。

私は、これまで約1年半にわたり、すべてとはいえないまでも全国を隈無く回らせていただき、それぞれの地域の皆さんが農地と水をしっかりと守っていただいている様子を強く感じました。このことは、平場や棚田など、それぞれの地域に即した多様な農業が継続できるよう、予算的・制度的に充実させていくことが重要だということに他ならないと考えています。

さらに、近年多発している甚大な自然災害への防災・減災の取り組み、担い手後継者の確保・育成のための取り組みも併せて着実に進めていく必要があります。

私は、これからも「土地改良は未来への礎」を政治活動の基本理念とし、各地域の現状を自分の目で拝見し、ご意見を自分の耳で拝聴させていただきながら、地域と国政のパイプ役となって地域の要請を国政に反映できるよう汗を流し続けていく所存です。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、和歌山県土地改良事業団体連合会の皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸、ならびに地域の一層の発展をお祈り申し上げます。

令和元年9月吉日

4. 農業農村整備の集い(6月)

令和元年6月5日、シェンパッハサボー(東京都)において、「農業農村整備の集い」が全国の土地改良関係者や国会議員など約1,200名の出席のもと、盛大に開催されました。本県からは、両副会長を始め、和歌山県、8市町村、5土地改良区の29名の参加がありました。

二階全国水土里ネット会長が主催者を代表して「本年度当初予算と補正予算を合わせて6,451億円を確保したが、これも皆様方の尽力の御陰、田んぼの中に入って農業振興のために一生懸命働いているのを見れば、もっと頑張らねばいけない」と力強い挨拶を行ったところです。その後、吉川農林水産大臣、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問ほか多くの来賓が祝辞を述べられ、最後に宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問の情勢報告がありました。

その後、全国土地改良大会開催県の水土里ネットぎふの藤原会長が要請文を朗読し、満場一致で採択した後、ガンバロー三唱で集いを盛会裡に終えたところです。



5. ため池保全整備連絡協議会等の提案活動

集いの後、県選出の国会議員へ水土里ネット和歌山の提案書、ため池保全整備連絡協議会の提案書、また、国営総合農地防災事業推進協議会の提案書により、要請活動を行いました。

特にため池保全整備連絡協議会の畑中会長は、農業用ため池の管理及び保全に関する法律が制定され、管理者等が不在のため池については、市町村の役割が増加することから、適正管理に向け、国の支援が不可欠であると訴えました。また、翌16日には農水省の室本農村振興局長をはじめ、幹部の方々に要請活動を行いました。なお、同日、自民党本部前で開催された「木の国・和歌山 紀州材展」にも参加し、紀州材の熱心なPR活動に感心したところです。



6.近畿水土里ネット連合協議会の総会

令和元年6月10日、アバローム紀の国において近畿水土里ネット連合協議会の総会が開催されました。連合協議会の当番府県は毎年度交代しており、今年度は、兵庫県から引継ぎを受けた和歌山県が担当です。

総会では、中山副会長が二階会長のメッセージを代読し主催者挨拶に代え、近畿農政局松岡参事官、和歌山県角谷農林水産部長から祝辞を戴きました。

議事は、平成30年度事業実施報告及び収支決算について、令和元年度事業計画及び収支予算（案）について、また国への政策提案についての3議案でした。

国への政策提案では、内容の修正等がありましたが、すべて承認を戴き滞りなく終了しました。総会后、近畿農政局土地改良管理課、防災課から情報提供を戴きました。

翌11日には、世界かんがい施設遺産の「龍之渡井」、県営中山間総合整備事業下丹生谷地区、国営総合農地防災事業和歌山平野地区の現地研修を行いました。



7.国営農業水利改良事業促進近畿協議会の定期総会開催

令和元年5月16日、田辺市のガーデンホテル・ハナヨにおいて、国営農業水利改良事業促進近畿協議会定期総会が開催されました。総会では、平成30年度の事業報告、決算の承認、並びに令和元年度の事業計画（案）及び予算（案）について、また、令和2年度の国の予算編成に関する提案書（案）、役員を選出についての4議案が上程されました。

今回は、南紀用水土地改良区の松川理事長が近畿協議会の会長を担っており、滞りなく議案が承認されたところです。

翌17日には、世界遺産の闘鶏神社や太陽光発電のある中芳養調整池、また、みなべうめ振興館などの現地研修会が行われました。



8.近畿水土里ネット連合協議会による提案活動

令和元年6月10日の総会で承認された国への政策提案書により、6月19日、水土里ネット和歌山の中山副会長を筆頭に近畿農政局小林次長に提案活動を行った後、農政局幹部と合同の意見交換会を行いました。

水土里ネット和歌山からは、樹園地農業を持続させるための生産基盤対策の充実を提案したところです。

また、第25回参議院選挙後の7月23日には、中村副会長、中山副会長の両副会長を筆頭に上京し、自由民主党二階幹事長並びに財務省角田主計局次長、農水省牧元農村振興局長、奥田農村振興局次長に直接提案書を手渡し、意見交換を行いました。

二階幹事長室には、進藤参議院議員、宮崎参議院議員も同席戴き、二階幹事長と共に土地改良の予算確保に向けて取り組んでいくとの力強い話がありました。



9. 水土里ネット和歌山第1回監事会及び理事会の開催

令和元年7月26日、井本代表監事、西岡監事、横地監事の全員出席のもと、**第1回監事会**が開催されました。平成30年度事業報告並びに会計収支決算について、令和元年度の会計中間執行状況、会計予算の補正についての4議案が上程され、全て承認を戴きました。

続いて、7月29日、理事12名の出席のもと**第1回理事会**が開催され、平成30年度決算報告について、令和元年度会計中間執行状況報告について、会計予算の補正について並びに規程の一部変更についての4議案が上程され、全員一致で承認されました。

10. 土地改良法改正に伴う複式簿記化、資産評価の取り組み

土地改良法改正による**複式簿記化**を推進するため、水土里ネット和歌山では、担当職員が県の担当者と共に巡回指導に取り組んでいます。各土地改良区の経営規模が異なるため、施設の更新事業等を行い、本格的に複式簿記化を行う必要のある改良区、また、施設管理のみであるため、経理は従来そのまま貸借対照表のみを作成する改良区など、経営実態に応じて、どのように対応するかを指導しているところです。

小規模改良区に対しては、県並びに水土里ネット和歌山で、必要書類の作成等を支援していきたいと考えております。

また、本格的に複式簿記化を進める改良区に対しては、課題解決のため税理士、弁護士等の相談業務を併せて行って参ります。

併せて、資産評価についても各土地改良区で所有、管理している施設を示して戴き、水土里情報システム等を活用し、**管理財産のデータ化**などを推進していきたいと考えています。

11. 有田巨峰村オープニングセレモニー

令和元年8月18日（日）、**有田川町川口の有田巨峰村（川口地区落葉果樹生産団地）**において、仁坂和歌山県知事、中山有田川町長、二階自由民主党幹事長、鶴保参議院議員、県議会議員ほか多くの関係者の来賓を招いて、**第38回オープニングセレモニー**が開催されました。

主催の森組合長の挨拶に続いて、来賓からは、日本一のブドウ産地を発展させ地域農業の振興に寄与して戴きたいとの祝辞があり、その後、風船飛ばしや餅まきでセレモニーが賑わいました。昨年は、台風の暴風でブドウの落下等があり大きな被害が出たが、今年は天候に恵まれ、ブドウの出来も非常に良いとのことでした。



12. シリーズ土地改良区紹介⑥

◆【方地区土地改良区】

1. 『組織の沿革』

本土地改良区は、夏場の異常乾燥時、安定した品質の柑橘栽培（温州ミカンを中心）が出来る様、灌漑を行うことを目的とし、昭和44年9月18日に和歌山県知事に認可され現在に至っている。

2. 『受益面積と組合員数』

面積／98ha 組合員数／106名

3. 『地域の概要』

本地域は、海南市下津町の海岸に近接している場所に位置し、二級河川の加茂川と宮川の合流する北側と南側、女良川隣接地域および県道加茂郷大崎線の海岸沿の地域が受益地です。

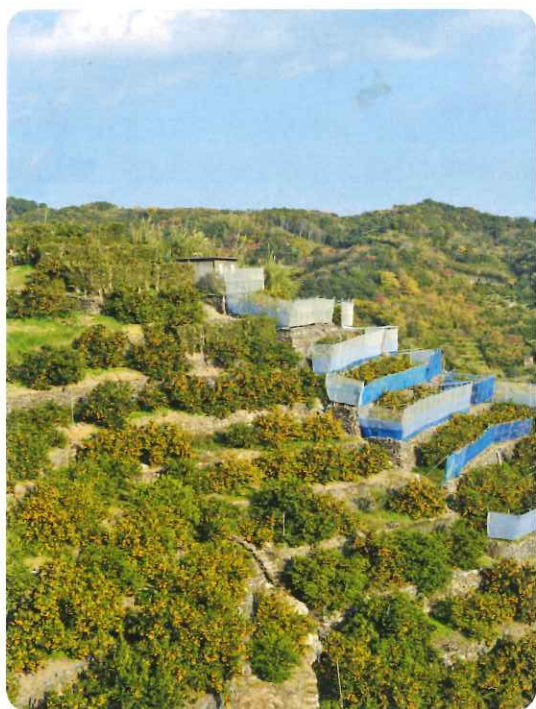
取水は、地下水等を使用して灌漑を行っています。

国道42号線を走行する際、山頂（高通山と中山）にタンクを見たことがあると思いますが、取水した水を2機の高圧ポンプでこの2つのタンクに送水し、落差を用いて各受益果樹園に散水しています。山の平均勾配は平均20度以上の急勾配です。

紀伊国屋文左衛門の船出の地でもある当地区は、古くからミカン栽培が盛んな地域です。先述したとおり急勾配のため受益地の殆どが段々畑となっています。栽培されている温州みかんは殆どが晩生種であり、「下津蔵出しみかんシステム」日本農業遺産認定・蔵出しみかんとして京阪神地区を中心に関東方面にも出荷される一大産地です。

また、この段々畑の景観の良さが維持され、地域で農地の保全活動が継続されていることから、昨年、第5回わかやまの棚田・段々畑サミットにおいて「わかやまの美しい棚田・段々畑」として認定されました。

近年、農業従事者の高齢化や従事者の減少から農業放棄地が増え、また温暖化による気候変動やゲリラ豪雨による石垣・里道の破損などが発生し、管理体制は年々難しくなっています。また、設備の老朽化も進み、維持管理を含めメンテナンス面においても苦慮している状態ですが、役員だけでなく全員参加で問題を一步一步片づけています。



◆編集後記

今年度は、近畿水土里ネット連合協議会の当番県として、国への提案活動を行ってきました。7月の参議院選挙では、全国比例区で全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫氏が当選したことは、非常に喜ばしいことです。今後は、進藤議員と共に土地改良の推進のため、尽力戴けたらと願うところです。